

■小正ネットワークって？

少子高齢化が進み、さらにコロナ禍で人々のつながりが薄れつつある。今、「小正ネットワーク」では、小正市民センター地区の皆さんが互いに支え合うことのできる地域となることを願って、定期的に会議を開催しています。

話し合いで定めた目指す地域像は、地域の方々が

孤立せず、

つながり合い、

助け合って

生活している。



そのために、
「住民同士のつながりはどうしたら生まれるだろうか？」
「自分たちにできることは何だろうか？」

と話し合いを進めています。

つながりづくりを進めていくために、既に今ある地縁活動を、広くお伝えし、共有し、つながりの輪を広めて行きたいと考えています。

今後、地域のつながり情報を発行して行きますので、素敵な地縁活動がありましたら、是非情報をお寄せください。

■「井戸端会議」のススメ

“井戸端会議”って知ってる？ 昔はね、近所の井戸にさえ行けば、誰かがいてね、盛大にオシャベリができたものよ。今じゃ、ここへ行けば誰かに会えるという場所がとんとない。近所の会合もすっかりなくなったし、老人会や婦人会もなくなった地区もあって、“合わさる”モノがないですよね。

子ども会も次第になくなっていくそうですってね。今思うと、“子ども会”って、本当は子どものためのモノでなくって、お母さん方のつながりのためのモノだったって感じがするわ。今はインターネットの時代。どうやって“合わさる”のかしらね。おしゃべりは大切よ。身の周りにそんな機会はないかしらね。

令和5年2月17日(金)小正ネットワーク会議・休憩中の雑談より



井戸端で 話弾んで 日が暮れる

ゴミ置き場 井戸端会議場に 早変わり



第3号
令和5年10月1日発行

■まちかとニュース

「稲沢白寿苑」をご存じですか？稲沢市治郎丸元町三十四番地にある特別養護老人ホームです。ショートステイとデイサービスセンターが併設されています。

▼稲沢白寿苑



稲沢白寿苑では、毎月第三日曜日午後二時から、入所相談会を開催しています。※事前予約制
「介護サービスがよく聞くけど、どんなサービスが利用できるの？」
「高齢者が入居する施設にはどんな種類があつて、何がしてもらえるの？」
「『白寿苑』はどんなところ？実際にいくら費用がかかるの？」など……

みなさんの疑問、

すべてお答えします！



安江施設長

場所を用意してもらえれば、老人クラブや自治会の集いの場での出張説明会も可能です。

今後のための情報収集はいかがですか？お気軽にお問合せください。

特別養護老人ホーム（デイサービスセンター）稲沢白寿苑

☎0587-2413800

■協力団体

小正市民センター地区まちづくり推進協議会

小正・下津地区民生児童委員協議会

稲沢東部老人クラブ連合会（小正市民センター地区内老人クラブ）

小正・下津地域包括支援センター

小正ネットワークは、稲沢市役所高齢介護課から委託を受け、稲沢市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターがサポートを行っています。本紙についての「ご意見・ご要望」は稲沢市社会福祉協議会 地域福祉課 加藤まで

☎0587-2316713

取材しました!



昨夏、子どもの声が原因で公園が閉鎖されたユースには驚かされました。子どもは地域の宝。地域で子どもを見守る体制のうちの一つに、スクールガード(子どもの登下校の見守り)があります。

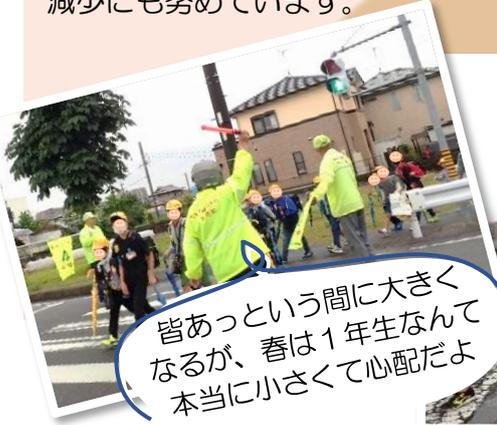
今回は、稲沢東小学校区内のスクールガード組織のうち2つの団体を取材させていただきました。

① 島町まわろう会

平成19年に結成しました。毎朝子どもの登校の様子を見守ります。父母の会も、子ども会解散を機に『島町まわろう会』に加入し、一緒に見守りをしています。

島町西区、島町東区の治安をよくするため、夜間のパトロールも実施。区役員と協力しながら、不審者や不法投棄、痴漢等の減少にも努めています。

毎朝スクールガードの皆さんがいてくださるおかげで、安心して子どもを送り出せています。*島町の保護者の声



皆あつという間に大きくなるが、春は1年生なんて本当に小さくて心配だよ

メンバーが少ないから、一つの交差点のガードが済んだら、自転車で次の交差点へ先回り。車通りの多い交差点は危ないで、見とつたらないかね。



いつも学校までついてきてくれてありがとう! 雨の日も風の日もありがとう! *島町の児童の声

② 国府宮安全クラブ

関東で子どもの連れ去り事件が起きたことがきっかけで、「地域で子どもを危険から守りたい」という思いから、平成18年から活動を始めました。保護者の方と協力しながら、毎日、子どもの登下校の様子を見守ります。その他、地域の盆踊り大会や馬まつり等、子ども会の行事もサポートしています。

毎月の終わりには、近くの喫茶店で反省会を開催し、情報交換をしています。心が和むひと時となっています。

地域の子もや、その親御さんと顔見知りになって、登下校以外でもあいさつを交わせるようになった。災害だとか万が一のことがあったとき、こうした地域のつながりが大切になると思います。

安全クラブの最高齢は90歳、定年なし! 毎朝のスクールガードのお陰で足腰も丈夫



交代で当番をして「おはよう」と声をかけとつたら、だんだんと子どもからあいさつをしてくれるようになったよ。嬉しいなあ😊

近くで、小正市民センター地区まちづくり推進協議会有志の方が治郎丸中学校の生徒さんの登校の様子を見守って見えました!

この年になると、みんな孫みただよ



子どもたちの安心・安全、そして成長を温かく見守っていただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も地域との連携を大切にしていきたいです。

稲沢東小学校

編集後記 今回は、小正市民センター地区内のスクールガードの取材がメイン。子どもたちと一緒に、実際に学校まで歩いてみると心も晴れ晴れ。「人のために尽くす」ことは、自分の『幸せ』のための一番の近道……とのある本の一説をふと思い出しました。取材させていただいた皆様のご健康を祈念しています。